

平和のためにできることは？

3月1日、小学生向け平和啓発冊子を発行

◎冊子 PDF データあり

市は「枚方市平和の日」である3月1日、小学6年生をメインターゲットにした平和啓発冊子（A4版フルカラー12ページ）を発行した。戦後80年近くが経過し、戦争体験者が少なくなる中、戦争の悲惨さや平和の尊さを子どもたちに伝え、平和のために自分たちに何ができるかを考えてもらうことが狙い。冊子は、自分たちが住む枚方における戦争の歴史と、広島・長崎原爆などの教科書等で学習する戦争の歴史を関連付けて紹介するなど、「平和」や「戦争」について「ジブンゴト」と感じられる工夫を凝らした。人権政策室の担当者は「ウクライナ侵攻や核兵器に関する国際社会の動向など、平和が脅かされる今こそ、子どもたちはもちろん、多くの方に手に取ってほしい」と話す。冊子は希望する学校に配布するほか、人権政策室窓口でも配布する。

★3月1日は、市内にあった陸軍の禁野火薬庫が昭和14年（1939年）に大爆発を起こして約700人の死傷者を出した日であり、昭和29年（1954年）に太平洋のビキニ環礁で米軍が行った水爆実験に日本の漁船「第五福竜丸」が遭遇し、乗組員が被ばくした日でもある。市は平成元年（1989年）、3月1日を「枚方市平和の日」に制定し、毎年様々な平和事業に取り組んでいる。

★これまでは「枚方市平和（戦争遺跡）ガイド」において、枚方の戦争の歴史紹介や、戦争遺跡のマッピングなど、市民への平和啓発に努めていたが、平和に関する小学校出前講座などの際、一部の教員から、「子どもたちに教えるため、もう少し分かりやすく、体系立てた資料はないか」との声があった。

★冊子の制作にあたっては、小学校教員へのヒアリングや教科書を参考にしながら企画。修学旅行で学ぶ広島・長崎原爆に関する情報を掲載するなど、小学6年生をメインターゲットとして子どもたちをはじめとした、多くの人に読みやすい冊子となるよう工夫を凝らした。冊子の最後には、平和のためにできることなどを自分で書き込みアウトプットできるページも用意している。



<問い合わせ>

市長公室 人権政策室

TEL:072-841-1259、FAX:072-841-1700、E-mail:jinken@city.hirakata.osaka.jp